

## 令和元年度第16回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年2月13日(木) 午後3時33分～午後5時15分
2. 会場 教育委員会 教育長室
3. 出席者
- |       |         |            |         |
|-------|---------|------------|---------|
| 教育長   | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長     | 鴻 野 弘 志 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 合宿の里統括監    | 三 上 正 洋 |
| 委員    | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長     | 須 藤 友 章 |
| 委員    | 加 藤 洋 之 | 学校教育課管理監   | 大 留 義 幸 |
|       |         | 生涯学習アドバイザー | 文 仙 敏 宏 |

(欠席委員 山 田 敦 久)

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

本日午前、市議会の全員協議会が開催され、令和2年度予算の概要説明を行った。市財政は、極めて厳しい状況にあり、職員の人件費についても質問があった。経常経費の圧縮も求められるなか、学校教育では支援体制の拡充や校務支援システムの拡充など、予算案に盛り込んだ。

社会教育関係では、サンライズホールの指定管理に伴い、朝日図書室は土日祝日は閉館する。文化センターの舞台管理についても委託拡大し、効率化を図るが、市民生活への影響は最小限に抑えたい考え。

GIGAスクール構想については、令和2年度当初予算ではなく補正予算での対応。

また、教育委員会事務局の組織体制を強化させるため、指導主事と学校教育アドバイザー・社会教育アドバイザーを配置。全員協議会では「どのような役割を担うのか」、「教育局の指導主事との違い」、「人物のめど」など質問があった。来月の大綱質疑でも質問が出るかもしれない。

本市教育行政の推進に向けて、それぞれの委員の立場での視点を大事に、ご意見をいただきたい。

本日の会議もよろしく願います。

#### 1 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第37号 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた本市における体力等の分析結果について説明を求める。

##### ○文仙アドバイザー

公表結果が、過度な学校間の競争につながらないように十分に配慮し、公表していきたい。北海道の結果とされている数字は政令市である札幌市を除いた内容である。本市の結果としては、小学生では改善の余地があるものの、中学生では評価すべき結果が出ている。運動習慣等の調査では、全国平均より高い数値であったが、平日のテレビ等の視聴時間が長いことについては改善の必要があると感じている。試行している部活動の拠点校方式について、更なる検討が必要。体育の授業を行う際に、教員が子どもたちに目標や目指す姿をイメージさせ、授業後にどこまでできたか「ふりかえり」まで行うことが大切。士別小学校に配置している「体育専科」の教員を更に活用すべき。生活習慣の改善は学校だけの取り組みでは難しいため、地域・家庭と連携し「早寝・早起き朝ごはん運動」を推進することなどが重要。

##### ○五十嵐職務代理者

冬休み中に小中学生がオンラインゲームを明け方までやっていたため、保護者が心配だったとの話を聞いた。親の目の届かないところでやっている場合もあるだろうが、依存症になる恐れがあり、対策が必要なのではと感じている。

○中峰教育長

青少年指導センターがスマートフォンの調査を実施した。調査項目等を変更したため、昨年と単純な比較ができないものの、中学校入学時に6割の生徒がスマホを所有しているとのデータもある。また、スマホを所有している子どもが回答しなかったケースもあるようだ。家庭でスマホなどの使い方のルールを決め、場合によっては使用制限も考えるべき。多くはフィルタリングなどの対策が取られていないなど適切な対応が浸透していないと感じている。子どもと向き合っていく必要があるが、取り巻く環境の変化も激しく、なかなか進めづらいところである。eスポーツが人気だが、依存の問題もある。先日、朝日でボールを使った遊び教室「バルシューレ」が行われた。この季節は外で遊ぶ機会が減っており、子どもたちは楽しみながら、かなりの運動をしていた。体育専科の教員も見学に来ており、今後の授業に向けて参考にしてもらいたいと考えている。分析結果については校長会に情報提供した後に公表する。

○馬場委員

女子に多いと思うが、バレエをやっていた場合は運動にカウントできるのか。

○中峰教育長

チアリーディング等を含めては、スポーツの位置づけにあるものと考えている。

○文仙アドバイザー

明確な例示がされていない。

○馬場委員

HIP-HOP ダンスなども含めると、数字が変わる可能性もある。汗をかくほど激しい動きである。

○加藤委員

文化とスポーツの二本柱を両方進めることが重要である。

○五十嵐職務代理者

子どもの時は、自分の体のことを意識しないのでは。高齢になると不安に駆られ運動しようとする。

○中峰教育長

基礎的な動きなどを、自分で慣れながら楽しむことを自然に身につける。苦手意識を持たないことが大事。一つの種目だけだと偏った動きになってしまう。小さい頃から様々な運動に取り組むと良い。

○加藤委員

実際におかしなフォームで走っている中学生を見かけたことがある。

※ 議案第37号 了承

○中峰教育長

議案38号 士別市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について、及び議案39号 士別市民文化センター条例施行規則の一部を改正する規則について一括して説明を求める。

○鴻野部長

議案38号はサンライズホールの指定管理に伴い、土曜・日曜と祝日の利用者が少ない朝日図書室について、4月からこの日を閉館とするもので、議案39号は午後9時以降の利用が減少する文化センターの閉館時間を、現行の午後10時から1時間繰り上げて、午後9時に閉館するもの。

○中峰教育長

これまでも社会教育施設のあり方について説明してきた。施設の利用データを分析し、利用団体なども協議を行ったうえでの方針。社会教育委員の会議では、時々で良いから朝日図書室に司書を配置し

てほしいとの要望があった。

○五十嵐職務代理者

午後には司書がいて低学年の子どもが勉強したりしている状況も望ましい。平日毎日ではなくても、利用のある時間帯にいてもらうと良い環境になる。

※ 議案第38号、議案第39号 了承

○中峰教育長

議案40号 士別市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について、及び議案41号 士別市立小中学校通学区域規則の一部を改正する規則について、議案42号 士別市遠距離児童生徒通学費支給規則の一部を改正する規則について、議案43号 士別市立小規模校（特認校）入学取扱要綱の一部を改正する要綱について、4案件について一括して説明を求める。

○須藤課長

これら4件は、多寄中学校の閉校に伴い規則等を改正するもの。それぞれ4月1日から施行する。

○中峰教育長

特認校の要綱については、多寄中学校の閉校を見越して1年前に改正し、上士別中学校を追加していた。

○五十嵐職務代理者

要綱の中で、特認校を希望する児童生徒の申込が定員を超えた場合は抽選になる旨の記載があるが、現状では抽選になることは想定できない。この部分は削っても良いのではないか。

○鴻野部長

他市町村では定員を超えて申込みがあったとも聞いている。

○中峰教育長

単純に田舎ぐらし体験の希望であれば抽選になるのもわかるが、児童生徒への配慮の必要性を考えた場合はどうかと思う。小規模校の場合は、1人の動きで教員の定数が変わってしまう場合がある。

○五十嵐職務代理者

抽選という表現に違和感がある。子どもの人数が減っていることから、定員を超えることはないのではないか。

○中峰教育長

他市では「学年で10人以内」などの表現をしている例がある。考え方を整理し、次年度までに取り扱いを検討する。

※ 議案第40号、議案第41号、議案42号、議案43号 了承

○中峰教育長

士別市高等学校バス通学費補助要綱の一部を改正する要綱について説明を求める。

○須藤課長

高等学校の生徒に対する通学費補助について、消費税増税に伴い定期券の額が変更になったことにより改正するもの。

○中峰教育長

補助の対象となるのは、具体的にどの辺りに住んでいる生徒か。

○須藤課長

士別翔雲高校に通学する生徒のうち、温根別・朝日と上士別の大和地区から乗車すると対象になる。

※ 議案第44号 了承

## 2 その他について

### ○中峰教育長

始めの挨拶でも話したが、新年度の予算編成が厳しい状況であり、教育委員の道外研修について見直しが必要となった。これまで隔年で実施してきたが、教育長の任期中に1回実施するとの考え方に改めるため、次は令和3年度に実施することになる。また、市教研の事業である陸上記録会と音楽発表会について、開催方法などについて協議が行われた。陸上記録会は、そのものをやめるとの意見もあったが、実施する種目を整理し、リレーを廃止することや開会式・閉会式を簡素化し、時間を圧縮して開催することとなった。これまで二部制で行っていた音楽発表会は、発表時間をコンパクトにまとめて午前中の開催とし、土別中と土別南中が行っている吹奏楽の発表は1年おきに交代で演奏することになった。また、皆さんにも参加していただいた「校長のチカラ」の合唱は本年度で終了するものとする。両事業とも他の学校と一堂に会する機会は貴重であるため、大切にしていきたい。

### ○五十嵐職務代理者

音楽発表会は午前と午後に分かれているため、子どもたちが全ての発表を見ることができず残念だと思っていた。

### ○馬場委員

もっと学校数が多かった時は二部制でやらざるを得なかった。

### ○中峰教育長

お手元に、令和2年度の教育行政執行方針をお配りした。GIGAスクール構想には、インフラの未整備からついていけない。他市町村ではほぼ整備が終わっている様子。最終的には児童生徒一人一台のパソコン端末を整備するが、学年ごとに導入する計画。なお、将来的に端末を更新する場合の財源についても何も示されていないという課題も残っている。

### ○三上統括監

来週17日から21日まで、台湾の台中市立大甲工業高級中学生が来市する、ホストタウンとして受け入れするが、今後は教育旅行受入としての対応にシフトしていく予定。東高校や市内の施設で様々な交流や体験プログラムを準備している。

### ○馬場委員

防寒具などどうするのか。

### ○中峰教育長

日向スキー場の貸出し用ウェア等の活用も考えられる。靴などは用意しておいた方が良いかもしれない。存分に、雪の面白さを楽しんでもらいたい。

## 3 その他について

当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後5時15分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章